

経営理念

インターネット専門銀行として
先進的で魅力あふれる
金融サービスを提供する銀行

お客様の視線に立ち、
お客様とともに歩む銀行

人間性にあふれ、
働きがいのある銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2011年3月11日に起きた東日本大震災で被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

ジャパンネット銀行でも微力ながら、義援金の受け付けや被災地のお客様への一部手数料無料化などの取り組みを行ってまいりました。今後も継続して復興へのお手伝いとなる取り組みを行ってまいります。

さて、このたび、2011年度中間期におけるジャパンネット銀行の取り組みを皆さまにご紹介する中間ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

2011年度中間期の取り組みについて

2011年度中間期の業績は、口座数228万口座、預金残高4,757億円、ネット決済件数4,639万件、経常利益11億64百万円となりました。お客様の日頃のご支援に感謝申し上げます。

当中間期において当社は、お客様のニーズに沿い、以下をはじめとした取り組みを行いました。

JNB-FX PLUS(店頭外国為替証拠金取引)では、2011年5月に取引手数料を無料化。6月には、円高を背景に外貨投資への関心が高まるなか、「FXを始めたいけれど不安がある」というはじめてのお客様にもご利用いただきやすいよう、レバレッジを1倍に限定した「初級タイプ」の提供を開始いたしました。

また資産運用への理解を深める一助としていただけるよう、2011年2月から運用商品についてのWebセミナーをスタートさせました。おかげさまでご好評をいただき、12月までに全18回のセミナーを開催することができました。

お客様のご意見をお伺いするアンケート調査も継続して実施しております。お寄せいただいたご意見をもとに、投資信託のファンドナビゲーション等新機能のご提供や、視覚障がいのあるお客様へのご案内の充実などに取り組んでまいりました。引き続き、どなたにでも安全でスムーズにお使いいただけるサービスを目指し改善を行ってまいります。

いつでも安心してご利用いただける銀行であるために

この中間期は、個人情報の流出や金融機関からの不正出金といった事件もあり、特にインターネット上での情報の安全が注目された半年でもありました。

決済サービスを強みに成長を続けてきたジャパンネット銀行にとって、お客様のお取引の安全性は特に重要であると考えています。

世の中にスパイウェア等を利用したネット金融犯罪が急増した2006年より、すべてのインターネット決済にワンタイムパスワードを標準導入。ワンタイムパスワードを表示するためのトークンを、すべてのお客様に無料でお届けしています。今夏には、2006年に配布したトークンの有効期限が到来したことから、対象となるお客様へ新しいトークンをお配りし、切り替えていただきました。

また、口座への不正アクセスや不正利用を未然に防ぐため、警察など行政機関のご協力を得ながら、専門部署において厳格なモニタリングを実施しています。

今後も、お客様にいつでも安心してご利用いただけますよう、安全対策への不断の取り組みを行ってまいります。

引き続きジャパンネット銀行をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

2012年1月
代表取締役社長 村松 直人